

5. 住民等と協働による河川の総合的な管理

5.1 河川愛護の推進

河川愛護の推進にあたっては菊池川の特長や地域の風土・歴史・文化を踏まえ、「菊池川らしさ」を活かした河川整備を進めるため、ホームページやパンフレットにより広く情報提供し、地域住民との合意形成に向けた情報の共有化、意見交換会の場づくりを行う等、関係機関や地域住民等との双方向コミュニケーションを推進していきます。

また、川遊びや水生生物調査、流域体験学習等の自然体験活動の機会を通じて、身近な自然である菊池川に親しみ、次世代を担う子どもたちへの河川環境学習を積極的に支援する等、地域住民の菊池川に対する関心を高めるための活動、場づくりを行います。

5.2 住民参加と地域との連携による川づくり

より良い菊池川の川づくりを実現していくためには、日頃から地域住民との連携意識や情報交換、コミュニケーションによる意思の疎通、地域住民と行政の役割分担といった、川づくりにあたっての連帯感を向上させていくことが重要であると考えています。

そのため、ホームページやパンフレット等による積極的な川の情報発信を行っていくとともに、必要に応じて、川づくりについて地域住民との意見交換会を行っていきます。

特に菊池川の河川清掃やイベント等の地域住民の自主的な活動に対しては、多数の地域住民が参加できるよう、必要となる情報を積極的に提供する等の支援を行います。

これらを継続的に実施することにより、地域住民の菊池川に関わる機会が増え、日常の維持管理についても、従来の河川管理者主体による河川管理から「菊池川は地域の共有財産」との認識に立った住民との連携・協力体制の構築、さらには地域との協働による河川管理への転換を推進します。



写真 5.1.1 地域住民との川づくり意見交換会